

史跡 佐渡金銀山遺跡  
金子勘三郎家住宅保存修理工事の進捗状況報告

【主屋】

◎令和4年度工事

○工期：令和4年5月19日～令和5年3月15日

○実施内容

【5月】準備工、内外部足場設置、鉄板敷き等

【6月】壁小舞竹下地、鴨居、敷居取付等

【7月】木材加工、土壁塗り等

【8月】外壁板張り、土壁塗り等

【9月】天井板張り、土壁塗り、建具補修等

【10月】床下地組、床下配線、古色塗り等

【11月】床板張り、内外漆喰塗、外構工事等

【12月】上記残工事等

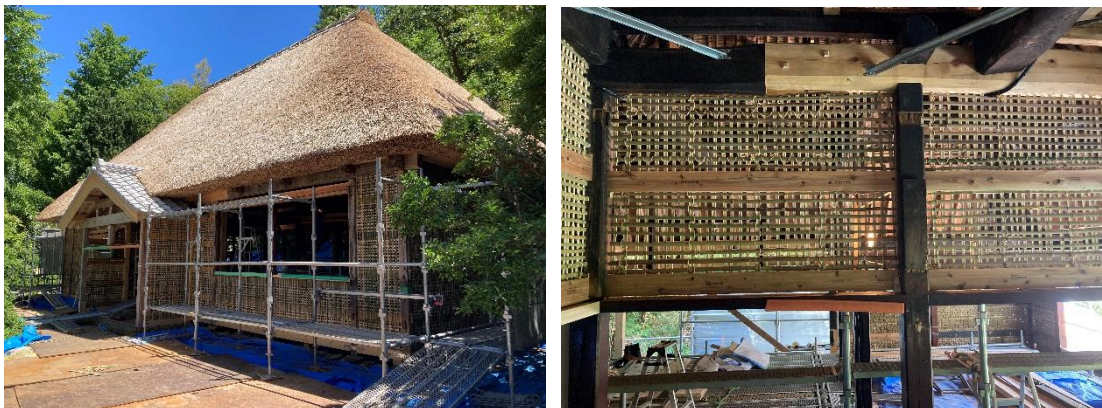
【1月から3月】建具設置、電気設備設置、展示パネル設置等を実施する予定。

本年度は、主に左官工事(土壁)、内外装工事(外壁、内壁、仕上げ等)、建具工事、塗装工事(古色塗り)、電気設備工事(照明器具、自動火災報知設備等)、外構工事、展示パネル作成等を行っている。主屋は今年度完成の見込み。

また、佐渡市民を対象とした現地説明会(令和4年11月3日)を開催し、当修理工事の周知を図った。地元集落に対しても、主屋竣工後に説明会を開催予定。

なお、令和5年度は、牛納屋の実施設計業務を行う予定。

◎令和4年度工事写真抜粋



6月 壁小舞竹下地

協議事項(1)-2



7月 土壁塗り状況



8月 外壁板張り状況

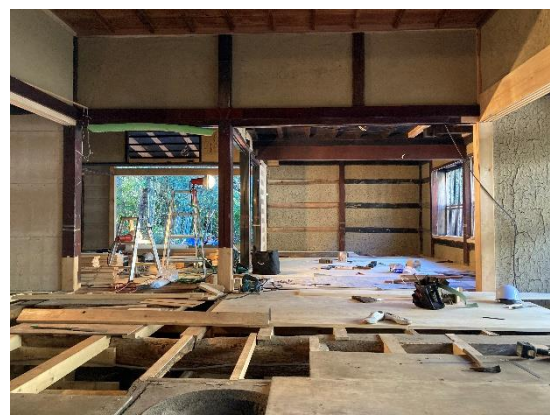


9月 天井板張り状況

協議事項 (1) -3



10月 床下地組状況



11月 床板張り状況



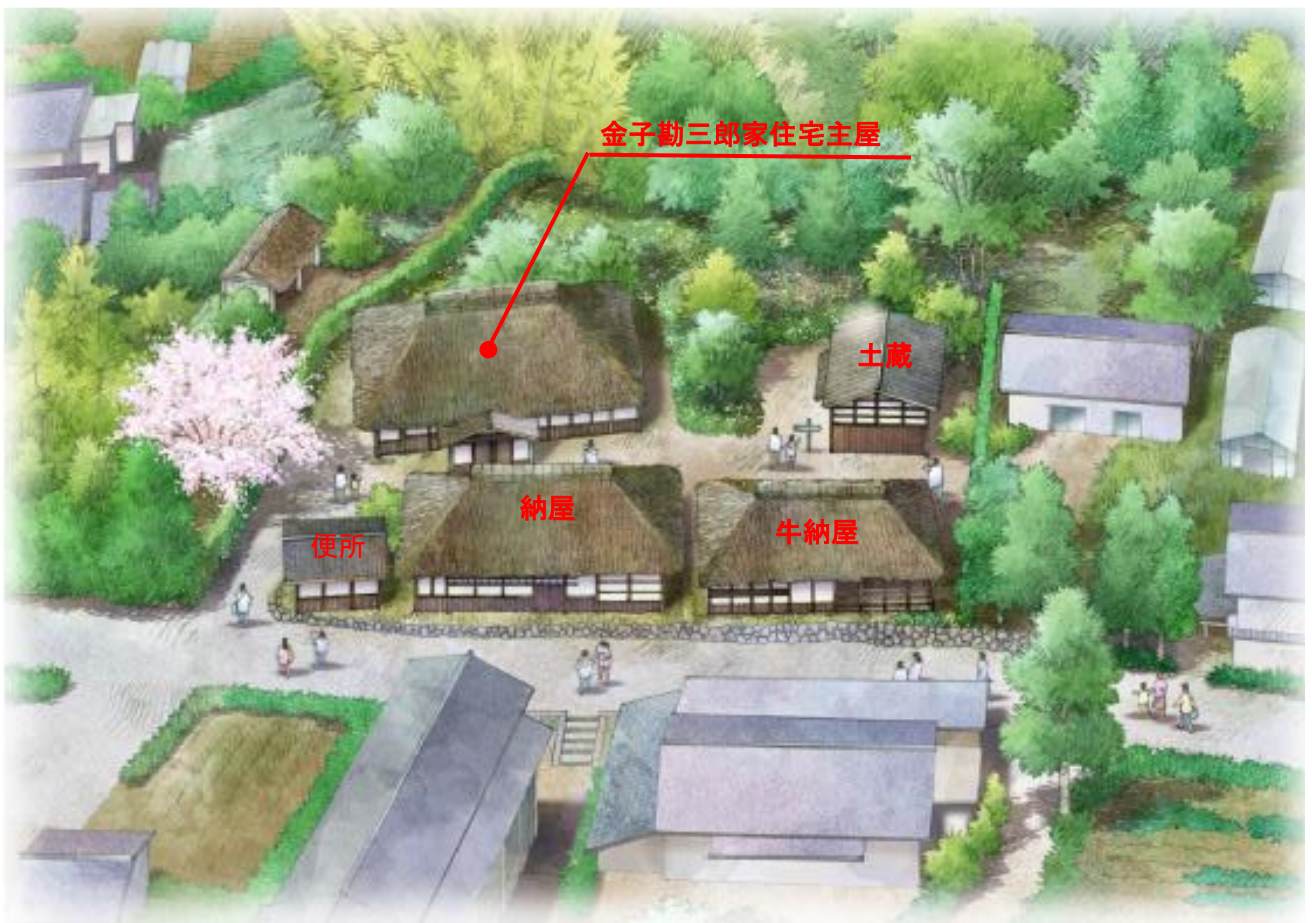
12月 外観状況

◎主屋と他4棟工事の予定工程表

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
主屋	※3年間を予定									
牛納屋		※令和3年度に一部工事を前倒し予定。後、令和6年度以降2年間を予定								
土蔵							※2年間を予定			
便所							※2年間を予定			
納屋									※2年間を予定	

※工事が完了次第、随時、建物を公開する予定。なお、予算状況によっては工程が変更になる可能性がある。

◎修理後のイメージ ※史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画より抜粋



## 史跡 佐渡金銀山遺跡 金子勘三郎家住宅保存修理工事の展示パネルについて

### ■はじめに

令和4年度の金子勘三郎家主屋保存修理工事に関連して、下記的前提条件のもと、展示パネルを作成する必要があるため、その内容について本専門家会議で協議したいと考えます。

### ■前提条件 ※POは史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画書の頁

#### ① 史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画書(以下、整備計画という。)に基づき、金子勘三郎家の文化財的価値が伝わる内容とする。

…発掘調査・資料調査等の調査結果に基づき、史跡の価値の顕在化により、来訪者が史跡の文化財的価値を理解しやすいような整備・活用を目指す。(P21)

#### ② 笹川集落に点在する既存案内看板とデザイン(雰囲気やフォント等)を揃える。

…各種サインのデザインを統一するとともに、動線計画に基づいた来訪者受入れ態勢の充実を図る。(P22)

#### ③ 笹川集落ガイド(笹川の景観を守る会)の補助となること。

…ガイドツアーによる公開を原則とし、技術・生活の要素を巡るモデルコースを案内する。このため、解説ポイントにガイドが説明のツールとして使いやすい解説機能を整備する。(P33)

### ■金子勘三郎家の文化財的価値

整備計画(史跡佐渡金銀山保存管理計画より引用)で示された史跡佐渡金銀山遺跡の本質的価値は、以下のとおりである。(P10)

中近世から近現代に至る約400年間にわたり操業された金銀鉱山の、技術、経営、鉱山に関わった人々の生活の変遷の歴史を示す遺構が佐渡という一つの島で点在しながらも、それぞれ良好に残る、わが国を代表する金銀山遺跡である。

- A. 日本の鉱山史、経済史を理解する上で欠かすことのできない史跡である。
- B. 中近世から近現代にかけて約400年の金銀生産活動における各段階を代表する遺構が鉱山ごとのまとまりを持ち、広大な遺跡が広域に点在して分布する。
- C. 鉱山技術が理解できる。
- D. 鉱山経営(金銀生産システム)が理解できる。
- E. 鉱山を支えた人々の生活が理解できる。

金子勘三郎家は上記の内、特にDとEに焦点を当てて説明できるパネルにしたいと考えます。